

送配電事業特集

～安全に安定した電気を低廉な価格でお客さまにお届けするために～

送配電事業者の役割

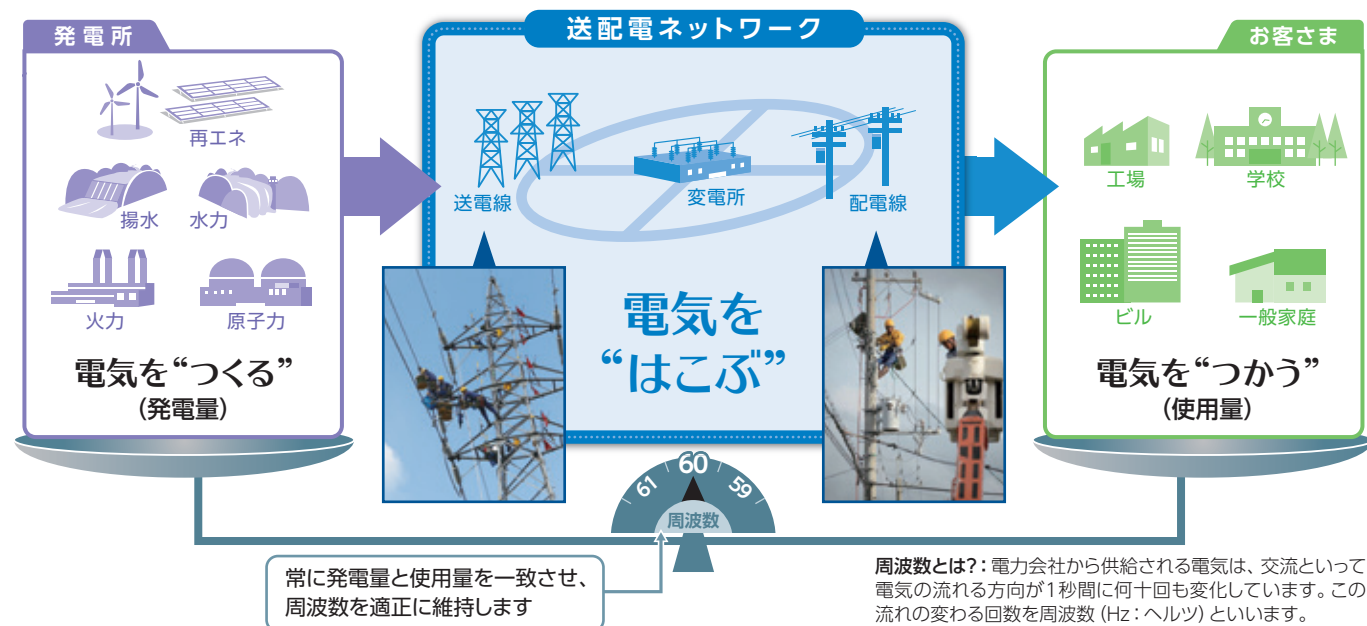
私たちの使命は「安全に安定した電気を低廉な価格でお客さまにお届けする」ことであり、電気を“つくる”発電所と電気を“つかう”お客さまをつなぎ、電気を“はこぶ”役割を担っています。

具体的には、送電線、配電線、変電所など電気をお届けするための設備の計画・工事・保全を行っており、日々の巡視パトロールによる設備の異常・損傷の早期発見や、メ

ンテナンス結果に基づく計画的な設備の更新等により、設備トラブルが原因となる停電の未然防止に努めています。

また、それらの設備とそこにつながる発電設備等を含めた送配電ネットワーク全体の電気の流れをコントロール（運用）しています。電気は常に発電量と使用量を一致させ、周波数を適正に維持する必要があるため、送配電ネットワークを常に監視・制御しています。

■電気の流れと送配電事業の役割



送配電事業の分社化

2020年4月に予定される一般送配電事業の分社化にあたり、当社の100%出資会社として「関西電力送配電株式会社」を設置し、当社（関西電力）が保有する一般送配電事業を、これまで培ってきた送配電事業者としての使命と共に承継することとなります。

関西電力送配電

“V(ボルト)”と“A(アンペア)”を基本モチーフにした商標のデザインは“∞(無限大)”を示しています。それは、お客さまと発電、送配電の三者がつむぐ永遠の絆であり、送配電の尽きることのない安全・安定供給の使命、無限の可能性を象徴するものです。

Q. 分社化後の電気の品質や信頼性はどうなるの？

A. 関西一円の送配電設備については、関西電力送配電が一元的に管理するため、電力供給の品質や信頼性が損なわれることはありません。関西電力送配電は、当社（関西電力）以外の小売電気事業者さまや発電事業者さまに対し

ても、公平に送配電設備の構築や保全を実施しており、また、災害時の停電復旧をはじめ、電気を安定してお届けするための対応はこれまでと変わることなく取り組んでまいります。

今後の事業の方向性

「安全に安定した電気を低廉な価格でお客さまにお届けする」という変わらぬ使命を担い、地域に密着した活動により、地域やお客さまからの信頼を獲得し続けてまいります。

加えて、これまで培ってきたノウハウや技術力、関西一円に有する設備等の強みを活かした新たな事業領域の開拓やコンサルティング事業を中心とした国際事業についても積極的に挑戦してまいります。

見守り事業「OTTADE !」(2018年5月～試行実施)

ホイッスル型見守り端末を携帯する児童の位置情報履歴を、契約いただいた保護者がスマートフォン等を通じて確認できるサービスです。



送配電カンパニー
系統運用部
中央給電指令所
西村 哲也

私たちの変わらぬ使命を全うしていくために

私は、関西エリアの時々刻々と変化する電力消費に合わせるよう、発電する量を調整し、周波数を適正に維持する役割を持つ中央給電指令所に勤務しており、「安全に安定した電気を低廉な価格でお客さまにお届けする」という使命を念頭に、日々業務に従事しています。

一方、当社を取り巻く環境は、周波数を調整するために、主に当社発電機を活用する時代から、他社さまの発電機を活用する

権利を買う時代へと変わろうとしています。これによりコストの低減が予測される反面、必要な量をいかに的確に調達するかという課題が生じるため、その対策について我々は検討・議論を重ねています。

2020年4月より一般送配電事業の分社化が行われますが、引き続き中立性と公平性を確保しつつ、変わらぬ使命を全うしていきたいと思っています。



送配電カンパニー
企画部 新規事業グループ
白神 有貴

関西のみなさまの快適な暮らしに貢献できるサービスを提供するために

私は、地域社会が抱える課題やニーズの解決・解消に貢献することを目的に、既存の送配電設備やこれまでに培ってきた技術力といった送配電事業の強みを活かした新規事業の企画を担当しています。

具体的には、「電柱に宅配ロッカーを設置するサービス」を担当しており、2018年11月から本サービスの試行をはじめ、現在はその結果を踏まえた事業性の評価を実施しています。本サービスは、近年増加してい

る宅配物の再配達数を減少させることで、環境負荷を低減するとともに、お客さまの快適な暮らしに貢献することができます。

分社化など当社を取り巻く環境が変化していく中、お客さまの快適な暮らしに貢献できる新たなサービスの提供を目指し、これまでにない大胆な発想で、新たな事業領域にも果敢に挑戦したいと考えます。



電柱吊宅配
ロッカーサービス